

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人ありす福祉会 あいな園		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人(14世帯)	(回答者数) 10世帯
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 5日		～ 令和7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導訓練室については、十分な広さを確保しており特性に応じた空間を提供できています。	広い空間を利用して個々に応じた支援(遊び・製作等)が行える。	この広さを生かして更に充実した支援を行っていく。
2	毎月の職員会議時に支援会議も実施し、個々の児童に対する支援内容や直近で気になる事などがあれば各職員より意見を出してもらい支援の方向性を見直していく事を行っている。	児童に対する様子や保護者からの家庭での様子を聞き取り、状況に応じて支援計画の作成・見直しを行っています。	個々の児童に対する支援内容を全職員が理解して、必要である支援を行っていく。
3	事業所付近は自然で豊かであり、ゆったり楽しく過ごせる環境下である。	自然が豊かな環境での外出・散歩を通して児童・職員とのコミュニケーションを充実できるようにしている。	今後も自然が豊かな環境を生かして、充実した生活を送れるように支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置に対しては基準を満たしているが、利用児童の個性により十分な配置が難しい時がある。	低学年から高学年まで児童が利用している為、職員が状況に応じて支援する際に不足してしまう事がある。	その場の状況により職員配置を考えていく。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、訓練も行っているが、職員・保護者に対する周知が行き届いていない事がある。	職員については、会議等で周知をしているが全マニュアルに対して共通理解ができていない部分がある。保護者に対しても契約時に説明をしていますが、既存児童保護者に対しては周知が至らない事がある。	保護者に対しては、全マニュアルについて策定と内容について随時面談時などに説明を行っていく。 職員に対しては、全マニュアルを理解できるように周知をしていく。
3	地域との関りが少ない。	近隣住民の方たちと顔なじみになっているが、緊急時に協力を体制を正式に結んでいないため、不安が残っている。	行政とも調整し、自立支援協議会などで地域とのつながりにより深く行えるようにしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あいな園

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 令和7年2月1日 15人(14世帯)

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8			2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10				広くて清潔です。	日々清潔を保てるように維持管理しております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9				1	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		2	3	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	1	7		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	3	3	特に必要とは感じておりません。	必要であれば考えていきたいと思えます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8		1		行事予定表が月ごとにあればほしい。	月間行事予定などについては発信できればと考えております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9				大好き制作があったり、お出かけがあったりとで楽しみに通所しています。	子ども達が楽しく過ごせるように考えていきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				大変満足しております。いつもありがとうございます。	安心・安全と共に楽しく過ごせる環境作りを考えていきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人ありす福祉会 あいな園				公表日	令和7年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導訓練室は基準より広めにしている。	児童の成長と共に手狭に感じる事がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			基準以上の職員配置を行っているが、日によっては職員不足を感じる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	訓練室はフラットであり、過ごしやすい環境である。	玄関が階段なので車いすでの直接入室は難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		指導訓練室は広々としており、様々な空間が提供できている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		指導訓練室・静養室・相談室があるため必要に応じて使用する事ができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		PDCA サイクルを実施する事ができていないため、改善に努めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			ご意見を真摯に受け止めて改善できるように努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員支援会議等で意見を出してもらい改善できるようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現状は行っていないが、必要に応じて対応していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に必要研修を受講している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		法人Hpiに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		面談や送迎時に保護者からの要望などを聞き反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			支援計画作成時には、全職員の聞き取りが不十分な事があるので、共通理解できるように取り組んでいく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			共有・計画に沿った支援が不十分な時があるため、共通理解を深めていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		各職員と共に認識不足の為共通理解を深めていきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画に反映させている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			プログラムの立案をチームで行う事が少ない為様々な意見を出し合い、チームとしてのプログラム内容を考えていく必要がある。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		その時の状況により柔軟に対応できるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		適宜必要に応じて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		出勤時に本日の動きを職員に周知している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			送迎終了時には今日の出来事を振り返り共有し、日誌にも記載し不在職員についても口頭にて伝達している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		保護者への連絡帳及び支援日誌を記入しており、職員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		面談等を通じて行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			地域交流が少ない為、今後は積極的に参加をしたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		様々なおやつから選んでもらえる環境がある。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じて行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		現状は連携はしていないが必要に応じて対応していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者の方より随時情報を頂いている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		現状では情報共有は少ないが、状況に応じて対応する。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談支援センターを通して情報提供をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		現在は行っていないため、必要に応じて対応する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在は行っていないため、必要に応じて対応する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		来年度以降に参加する予定。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時などで情報交換を行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		現在は行っていないため、必要に応じて対応する。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談等でご要望などを支援に反映できるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		内容について説明し、同意していただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			必要に応じて対応している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在は開催していないが、現状では必要に応じて開催を考えている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合には適切に対応できるように整備している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		年3回通信を発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		全職員に取り扱いについて注意喚起している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特性に応じて意思疎通を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		実施はしていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			整備はしているが、周知不足がある為面談等で周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年2回消防署立ち合い避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時・服薬変更時に確認はしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	現状はないが、契約時にアレルギーについて聞き取りをしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		日頃の散歩ルートなどで危ない所がないかチェックしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全計画は策定しているが、周知不足があるので面談等の際に周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		些細な事で報告し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎年、虐待防止研修を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現状はないが、身体拘束を行う可能性がある場合には、保護者に対して説明し了解を得た上で計画に記載する事としている。		